

革新的サービス

一般型

株式会社あわや

高齢者・障がい者の在宅生活を可能とする 「ワンルームケア」の推進



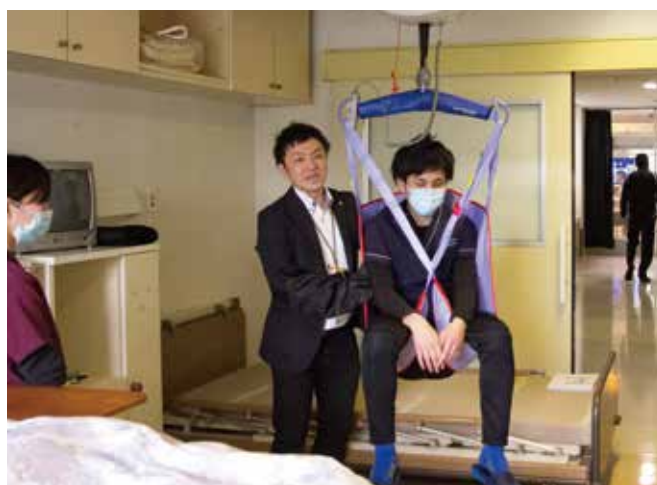
事業所に設置した介護用リフト



セミナーでリフトケアの周知を進める



ハンモックのような使用感を体験



医療機関に設置したリフト

会社概要

会社名 株式会社あわや
代表者 代表取締役社長 都築克宜
所在地 〒878-0012
大分県竹田市竹田町389-1
TEL 0974-63-2002
FAX 0974-63-3134
E-mail soumu@awaya.co.jp
U R L <http://awaya-fukushi.com>

事業内容 福祉用具貸与、金物・ギフト販売、
障がい者の就労支援事業
資本金 1000万円
設立 昭和30年4月
社員数 35名



代表取締役
都築 克宜

事業計画概要

要介護者の方がまだまだ在宅生活できる機能が残っているにもかかわらず、やむなく入所、入院している状況がある(入所するしかないと思いついでいる)。住環境整備の際にリフト付の部屋へとリフォームしておくことと、その他の介護保険サービスと組み合わせることで、住み慣れた地域での在宅生活を続けることが可能となる。厚生労働省も施設から在宅生活中心の介護へと方針を示しています。今後の住環境整備のスタンダードへとしていきたい。

背景・経緯

自社ならではの事業を目指して

あわや平成15年に福祉用具の貸与事業を始めた。19年に豊後大野市、同25年には大分市に中央事業所を開設し、地域密着型の福祉事業の拠点を広げてきた。

基本的には介護保険法にのっとった事業を行うが、在宅介護の顧客から「手すりを付けてほしい」「段差を解消してほしい」など、さまざまな要望が寄せられるという。もともとは金物販売の会社だった同社。各分野の職人と付き合いがあったため、こうした工事関係の要望にも対応できる。

今後の人口減少が予測される中で「地域のために、介護業界の人手不足解決のためにも共に働く人を助けたい」(都築社長)と、自社ならではの特色ある事業を検討してきた。

そこで着手したのが「ケアリフォーム」事業だった。担当者が介護を必要とする居宅から相談を受け、困りごとを解決するために自宅を改装する。今回の事業である「ワンルームリフトケア」もこの取り組みの一環だ。

事業内容

介護者、要介護者双方に優しい介護を

ワンルームリフトケアは、家やマンションの一室に設置したリフトを使い、障がい者や高齢者がこれで移動する介護の方法をいう。豪州や欧州では一般的だが、日本国内の事例はまだ少ない。

都築社長は「普及のためには在宅介護へ移行する前段階である医療機関で、リフトを使ったケアを経験することが必要」という。

これまでに大分市の病院や特別養護老人ホーム、障がい者施設などに天井走行リフトを納入した。納入先では2人で行う介助が1人で済むようになり、入浴時間が短縮するなどの効果が表れた。

多くの医療機関や介護福祉施設は人手不足に悩んでいる。また少ない職員の数での介護は患者にも負担を強いる。寝たきりの患者の手や足が固まる『拘縮』という現象は日本でしか見られないもので、人的介護が原因とも言われる。

「介護リフトとスリングシートをつかった移乗介助での使用感は、ハンモックのようで、人力介助とは異なり、とても安楽」と、都築社長は笑顔を見せる。

機械を使った介護はドライで冷たい印象を受けるという意見も受けることもあるが、実際には介護者、要介護者ともにストレスを減らす優しい介護の手段といえる。

成果

県内3カ所にショールームを開設

同社は今回の補助事業を活用し、自社の事業所をショールームとするため、県内の3事業所に介護用のリフトを設置した。

多くの顧客に製品を実際に体験できる場所を確保。また従業員に対しては製品知識、リフトの機能、操作に関しての周知徹底を図ることができた。

展望

リフト導入の意義を訴える

同社は、29年6月に竹田市で、同年10月に豊後大野市で、「抱え上げない介護セミナー」と題した研修会を行っている。病院関係者、施設関係者、ケアマネジャーなどの在宅介護従事者に対して、ワンルームケアについての情報提供やリフトの効能、使い方などについて情報提供を行う。30年8月に大分県社会福祉介護研修センターと共催するなど、今後も同様のセミナーを積極的に開催し、「リフトを導入する意義をしっかりと伝えていく」(同)。

同社の活動に自治体も反応を見せている。30年4月には大分県の事業としてモデル施設(大翔会、すぎのこ村、修光園、若葉会)を中心に『ノーリフティングケア』へ取り組む方向性を打ち出した。今年度さらに6カ所の施設で取り組みを計画している

都築社長は「周辺自治体、医療機関などとともに利用者の理解を深め、在宅でのリフトケアの普及を実現したい」と意気込んでいる。

まとめ 実体験ができるショールームを開設。

セミナーを通じ、新たな介護方法の利点を訴える。